

神経研究の進歩 第35巻 総目次

1991年(第1号～第6号)

数字は通巻頁数, () は号数

〔特集 神経疾患の動物モデル—Transgenic Biology の応用—〕

疾患モデル動物の変遷—序論—杉田 秀夫……5(1)

Transgenic Biology の基礎と応用

トランスジェニックマウスを用い

た神経研究の現状と展望……勝木 元也……10(1)

Embryonic Stem Cell (胚幹細胞)

……三木 清史・花岡 和則……17(1)

Gene Targeting (標的遺伝子導入)

中辻 憲夫・野口 茂・末盛 博文……26(1)

脳への局所的遺伝子導入……津田 正明……35(1)

IL-2 の神経系での発現……垣生 園子……44(1)

ミエリン形成不全マウス……木村 稔……53(1)

神経疾患モデル動物のトピックス

トランスサイレチンの発現と組織

沈着……山村 研一……65(1)

脳虚血の実験モデル……田村 晃……73(1)

脳出血, クモ膜下出血, 実験モデ

ル……早川 徹・片岡 和夫……83(1)

Gracile Axonal Dystrophy (GAD)

マウス—“Dying Back” 軸索変

性モデル—

小田健一郎・山崎 一斗・三浦 裕之

遠藤智代子・柴崎 浩・菊池 建機……95(1)

パーキンソン病のモデル

— TIQ など— ……吉田 充男……106(1)

〔特集 起立と歩行〕

起立から歩行へ—中枢神経系の

姿勢保持機構——森 茂美……173(2)

歩行の生起……有働 正夫……189(2)

歩行運動の制御機構……島村 宗夫……197(2)

神経伝達物資からみた歩行生起

の神経回路網……遠山 育夫・木村 宏……209(2)

歩行リズムの個体発生

工藤 典雄・尾崎 繁……222(2)

姿勢の制御機構—固有背筋と前

庭脊髄路細胞——杉内友理子・篠田 義一……230(2)

二足性の系統発達—霊長類を中

心に——岡田 守彦……241(2)

歩行分析の方法……窪田 俊夫……253(2)

基底核疾患の起立・歩行障害……今井 壽正……265(2)

脳卒中後の片麻痺とリハビリテ

ーション・プログラム……高見 正利……276(2)

小脳性 Astasia Abasia (起立・

歩行障害)……柳澤 信夫・徳田 隆彦

林 良一・田幸 健司……286(2)

Astasia without Abasia (歩行

可能—停立不能)—末梢神経

病変にみられる特異な起立障

害——平山 恵造・河村 満……294(2)

Duchenne 型筋ジストロフィー

症の立位・歩行障害

眞野 行生・豊島 英徳……300(2)

歩行失行……上野エリ子……308(2)

高齢者の歩行障害の特徴

山之内 博・豊倉 康夫……317(2)

起立・歩行の喪失—寝たきり老

人の神経学的問題点——豊倉 康夫……327(2)

〔特集 視覚系の機能分化〕

視覚系の機能分化に関する最近

の研究……酒田 英夫……339(3)

網膜の機能分化……田内 雅規・福田 淳……341(3)

一次視覚野の機能的構造

佐藤 宏道・津本 忠治……353(3)

視覚前野の機能分化……外山 敬介……365(3)

色覚の神経機構……立花 政夫……376(3)

膝状体外視覚系の機能……小川 哲朗……390(3)

空間視と眼球運動

—頭頂連合野の機能——河野 憲二……399(3)

下側頭回の形態識別機能……藤田 一郎……414(3)

下側頭回の顔識別機構

山根 茂・松田 圭司…	423(3)
PET でみる視覚野の機能 ……田崎 京二…	433(3)
非膝状体系の臨床的意義 ……筒井 純…	439(3)
大脳病変による色の情報処理障害—大脳性色盲と色名呼称障害について—	
福沢 一吉・河村 満・平山 恵造…	445(3)
相貌失認—両側損傷例と右側損傷例の比較を中心に— ……鳥居 方策…	456(3)
線の認知と画像の認知	
—視覚失認統覚型の臨床— ……山島 重…	471(3)
文字の視覚的認知…河村 満・平山 恵造…	479(3)
ヒトの視覚的思考におけるモジュール構造 ……岩田 誠…	489(3)

〔特集 神経系と生物毒素〕

神経毒研究の最近の発展 ……川合 述史…	509(4)
Na チャネルと神経毒 ……瀬山 一正…	514(4)
ω -コノトキシンと Ca チャネル	
ル ……阿部 輝雄…	524(4)
節足動物毒素とイオンチャネル	
ル ……中嶋 暉躬…	531(4)
ボツリヌス C ₃ 酵素による	
<i>rho/rac</i> 遺伝子産物の ADP リ	
ボシル化—低分子量 GTP 結合蛋白質研究への応用—	
森井 成人・成宮 周…	539(4)
百日咳毒素と G 蛋白質	
多田 周右・宇井 理生…	550(4)
破傷風神経毒素 ……松田 守弘…	560(4)
オカダ酸の蛋白質脱磷酸化酵素	
阻害作用—その特徴と応用— ……高井 章…	575(4)
狩蜂毒の神経作用物質 ……阿部 岳…	584(4)
長期増強と MCD ペプチド	
池中 一裕・御子柴克彦…	591(4)
興奮性アミノ酸レセプターと植	
物由来神経毒 ……篠崎 温彦…	600(4)
パーキンソン病と神経毒	
直井 信・永津 俊治…	613(4)
ヘビ神経毒と重症筋無力症	
太田 光熙・太田 潔江	
西谷 裕・林 恭三…	626(4)

〔特集 レトロウイルスと神経系〕

序 論 ……納 光弘…	693(5)
レトロウイルス学総論 ……畑中 正一…	694(5)

AIDS における神経障害と治療…矢野 雄三…	705(5)
AIDS の神経病理 ……水澤 英洋…	717(5)
HAM 研究の最近の進歩 ……納 光弘…	735(5)
HAM の分子生物学 ……吉田 光昭…	746(5)
HTLV-I と神経感染	

斎田 孝彦・Seung Kim・渡部 和彦

Masanori Yamada・船内 正裕

中嶋三智子・斎田 恭子 …… 756(5)

HTLV-I Tax 導入 トランスジ

ェニックマウスの病態

北島 勲・篠原 敏也

Herbert Schwarz・Michael Nerenberg… 766(5)

HAM の発症機序

田平 武・井野辺純一… 774(5)

HAM の宿主要因 ……園田 俊郎… 785(5)

HAM と免疫 ……糸山 泰人… 794(5)

HAM の臨床像…久保田裕章・納 光弘… 804(5)

HAM の神経病理…岩崎 祐三… 817(5)

HTLV-I 関連症候群

丸山 芳一・丸山 征郎・納 光弘… 824(5)

HAM の治療…松尾 秀徳・柴山 弘司

中村 龍文・長瀧 重信… 830(5)

〔特集 第26回 脳のシンポジウム〕

1. 開会の辞 ……萬年 徹…	871(6)
2. 挨拶 ……佐野 圭司…	872(6)
3. 神経系の発生	
1) 神経系の初期発生 ……岡本 治正…	873(6)
2) セロトニン線維の経路形成と終末形成・脊髄前角細胞への神経結合 ……岡戸 信男…	882(6)
3) 中枢神経系における神経細胞の生と死にかかわるト	
ロフィック制御 ……畠中 寛…	894(6)
4) 細胞死と栄養物質 ……宮田 雄平…	904(6)
5) 視覚野神経回路の発達	
山本 亘彦・黒谷 亨・外山 敬介…	910(6)
4. 神経系の可塑性とシナプス過程	
1) 海馬ニューロンのグルタ	
ミン酸受容体チャネル ……小澤 壽司…	917(6)
2) 海馬における長期増強	
山本長三郎・神谷 温之…	926(6)
3) 小脳プルキンエ細胞における可塑性の分子生理学的	
解析 ……平野 丈夫…	933(6)
4) イノシトールリン酸と情	

報伝達

—長期増強に関連して—野沢 義則… 941(6)

5. 神経伝達物質受容体とイオンチャンネル

1) 分子レベルからみたグル

タミン酸受容体チャンネル

(抄録) ……三品 昌美… 951(6)

2) グルタミン酸受容体

—クモ神経毒との関わり—川合 述史… 953(6)

3) Gタンパク質とイオンチ

ャンネル……額田 敏秀… 961(6)

4) 神経系の Ca チャンネル …阿部 輝雄… 968(6)

6. 脳と手

1) 体性感覚野の生理学……岩村 吉晃… 974(6)

2) 体性感覚野の症候学……武田 克彦… 983(6)

3) 物体操作の生理学的基礎

酒田 英夫・泰羅 雅登

村田 哲・峯 清一郎… 990(6)

4) 道具の使用とその異常……山鳥 重…1000(6)

5) 手の使用と補足運動野……丹治 順…1007(6)

6) 拮抗失行およびその類縁

症候……田中 康文…1015(6)

7. 挨拶……楢林博太郎…1031(6)

8. 閉会の辞……島蘭 安雄…1032(6)

〔綜 説〕

トリソミー16マウス

—ダウン症およびアルツハイ

マー病研究における有用性に

ついて—……西澤 正豊・田平 武… 117(1)

神経成長因子の作用機構および

神経細胞分化研究モデル

—PC 12細胞—……佐野 護… 132(1)

パーキンソン病に対する神経組

織の移植—研究および臨床の

現況と将来の展望—

伊達 勲・西本 詮… 147(1)

Positron Emission Tomography

(PET) による *In Vivo* ニュ

ーロレセプター結合アッセイ

—神経・精神疾患の最適診断

・治療をめざして—

澤田 康文・伊藤 清美・伊賀 立一… 641(4)

〔原 著〕

遺伝性脊髄小脳変性症の遺伝子

座決定に関する研究

—遺伝性オリブ橋小脳萎縮

症—

佐々木秀直・脇坂 明美・田代 邦雄

浜田 毅・吉田 延弘・池田 久實… 664(4)

右大脳半球梗塞後に生ずる左半

側空間無視における病巣の研

究……大山 博史… 841(5)

ミネラル偏食サルにおける血中

骨代謝マーカーの動態—中枢

神経系のミネラル代謝に関連

して—

安井 昌之・矢野 一郎・八瀬 善郎

岡本 幸春・大田喜一郎… 849(5)

〔書 評〕

「神経生理を学ぶ人のために」…島津 浩… 496(3)

「精神を病むということ」……木村 敏… 497(3)

「ローガン医学略語辞典」……後藤 文男… 497(3)

「神経科学レビュー5」……田中 順一… 858(5)

「ローン生化学」……藤木 典生… 858(5)

「臨床解剖学へのアプローチ」…山鳥 崇… 859(5)

「病態別 脳卒中治療マニュアル

」……平川 公義… 860(5)

「うまい英語で論文を書くコ

ツ」……亀山 正邦… 861(5)